

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4 年 1 月 4 日

アンケート期間:令和 3 年 11 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日

事業所名 おひさま教室

保護者等数(児童数) 35 人 回収数 24 人 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	5	1	5	・外では自由に遊べているが、室内ではよく分からない。 ・確認不足の為、分からないにした。	・以前に比べて活動スペースが拡大しているため、ゆとりを持って活動が出来ている。クールダウンをよりしやすいスペース作りも検討していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2		2	・マンツーマンについてもらえるので助かっている。 ・人数は十分だが、専門性は分からない。	・職員は原則マンツーマンのスタイルなので配置数は十分だが、全員が高い専門性を持っている訳ではないので、これまで通り社内、社外にて研修に参加し、適した資格を取得できるような体制を設けていく。また、どのようなスタッフがいるか保護者へ周知出来るよう努めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2	1	6		・手すりなどは設けているが、階段等で移動の難しい場所もあるので、必要に応じて出来る限りの改善を図っていく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	22	1		1		・保護者からの聞き取りだけでなく、活動していく中で見えてくる課題に応じて計画を作成、更新している。又、より適切かつ客観性を高める為、関わりのあるスタッフも交えて協議作成している。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	18	3	1	2		・児童によっては変動が多いと不安定になることもあり、固定化してしまうこともある。本人の要望を聞き入れたり、スタッフ間で話し合いをしながら新たな活動の取り組みも行っているため、引き続きどの児童に対しても活動が固定化されないよう努めていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	4	12		・児童によって関わりは異なるが、公園等で地域の子ども達と一緒に遊ぶなど交流はあるので、今後も状況に応じて機会を設けていく。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1				・契約時に説明しているが、随時気になる点についてはお答えしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか	22	1		1	・送迎の時に話をしてお伝えしている。	・送迎時だけでなく、電話やメールなど、保護者の状況に応じて共有している。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	10	1	3	・送迎の時や電話でも話を聞いてもらっている。 ・コロナの為、面談は出来ていない。	・コロナにより、面談の機会はないが、送迎時や電話などで支援をしている。今後、コロナが落ち着き次第、面談の機会を増やしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	12	7	・なくても問題ないのでこのままで大丈夫です。	・今回だけでなく、これまでも必要という意見が少ないので対応していない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	3		3	・苦情を伝えたことはないが、どちらともいえないにした。要望を叶えてもらっているため助かっている。	・苦情があった際は速やかに対応出来るような体制を整備しており、事業所全体で共有し再発を防ぐよう努めている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	3		2		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	2	9		・必要に応じてホームページへ情報を掲載しているが、情報が不十分な面もあるため、より細やかな情報が発信出来るよう努めていく。
14 個人情報に十分注意しているか	21	1		2		・個人情報に関して、社員に対して入社時に扱い方の説明をしておき、漏洩や紛失等がないよう徹底管理している。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	3	1	1		・様々なマニュアルを策定しているが、必要に応じて周知・説明を行っているため、定期的な周知・説明を行えるよう努める。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3		12		・地震や火事を想定した避難訓練を年2回行っているが、お手紙での伝達が多いので、保護者全体が周知する為の手段が確立出来るよう努めていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23	1			・公園や散歩などの外出を楽しみにしているようです。	
	18 事業所の支援に満足しているか	22	1		1	・送迎など無理を聞いてもらい、大変感謝しています。	・当事業所で出来る範囲ではあるが、今後もご要望にお応えしていく。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 12 月 10 日

公表:令和 4 年 1 月 4 日

事業所名 おひさま教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・以前まで空間に限られている面があったが、10月1日より改築等でゆとりのある部屋の使い方が出来るようになっていく。	・空間に仕切りがないので、クールダウンや活動に応じて区画分けが出来るよう改善を図っていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		・原則マンツーマンによる支援をしている。	・スタッフの配置数は十分だが、1人1人のスキルや経験に差がある為、スタッフの能力に応じたステップアップが出来るような体制を策定していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・現在、施設の入り口が階段の為、今後のご利用者に応じて整備していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・全体へは文書による共有が多く、個々の職員との話し合いが中心なので、より多くのスタッフが参加できる機会を設けていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート毎に保護者の意向をスタッフ間で共有している。	・保護者の意向があれば、可能な範囲で一つずつ確実に応えていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・事業所のホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・外部評価を行っていないが、今後検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・スタッフのレベルに応じて研修を動めている。	・スタッフの支援スキルだけでなく、人間性の向上もしていけるような研修も行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・見学、契約時等に行い、反映している。	・児童発達支援管理責任者のみで作る面もあるので、より多くのスタッフで協議した上で作成出来るよう努める。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・リタリコのアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		・チームでの立案は出来ていないが、個別のスタッフ間で協議している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・スタッフ間で話し合い、状況に応じた活動をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・個別療育の為、役割分担をする機会はないが、前回担当したスタッフとの情報共有は出来ている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・必ずではないが、送迎後など共有できるように努めている。又、話し合いが出来ない場合は文書での伝達をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・経過記録等に記録をしているが、特筆すべき事項がある場合は、全体が把握出来るよう文書に起こしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に一度のモニタリングをもとに計画の更新をしているが、児童の状況や保護者の要望に応じて、より適切な計画になるよう見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・原則、児童発達支援管理責任者、管理者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校との情報共有は保護者を通して行うことが多いが、連絡調整などは学校によってだが、直接行うこともある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・医療的ケアが必要な児童は利用されていないが、要望があれば応えられるよう努めていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・同法人内の児童発達支援事業所とは情報共有が行えている。	・保育園や幼稚園とは情報共有が行えていないので、必要に応じて努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・これまで提供する場面があまりなかった為、していない。必要に応じて提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・療育センターで行われる研修に参加したり、相談専門員からの助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・公園で地域の子ども達と一緒に活動している。	・地域の子ども達から活動に参加してくることが中心なので、その機会を活かして一緒に活動出来るよう努めていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っている。	・その都度、不明な点があればお応えしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・コロナにより機会は減っているが、送迎時や電話などで支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・現在、必要としている保護者が少ない為、行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった際は速やかに対応できるような体制を整備しており、事業所全体で共有し再発を防ぐよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・必要に応じてホームページへ情報を掲載しているが、情報が不十分な面もあるので、より細やか情報が発信出来るよう努めていく。
	35	個人情報に十分注意している	○		・個人情報に関して、社員に対して入社時に扱い方の説明をしており、漏洩や紛失等がないよう徹底管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・様々なマニュアルを策定しているが、必要に応じて周知・説明を行っているので、定期的な周知・説明を行えるよう努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・地震や火事を想定した避難訓練を年2回行っているが、連絡ノートでの伝達が多いので、保護者全体が周知する為の手段が確立出来るよう努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	・現在、十分に行えていない為、定期的な研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・今後、保護者やスタッフと協議した上で、必要に応じて計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・医師の指示書に基づく対応は出来ていないが、契約時に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・インシデント・アクシデントの事例集を作成し、事業所内だけでなく、会社全体で共有することもある。